スローライフ通信・第27号 平成22年1月1日発行 スローライフ広報委員会 祉法人和貴会 www.slowlife.or.ip

今月の作品

お祈り申し上げます。

みな様方の益

々の御健勝と御多幸を心より

ライフ生駒」では、昨年11月 ワーアレンジメントクラブを開催してい も明るく楽しい秦講師に来ていただき みな様いきいきと楽しんでおられます。

年も御指導御鞭撻を賜りますようお願い致

します

同じ花材で同じように生けても、それぞれに個性豊かな 作品が出来上がっていました。これは12月の作品です。

> 持って邁進します。 めざし、「和」の心を 地域福祉 社会福祉法人和貴会

理事長 池田

貴彦

御礼申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、みな様方に多大なるご厚情を賜り、心より

業仕分けが実行されるなど、国の予算編成も大きく変 と呼ばれる法人・施設となる為、職員一同「和」の する期待にお応えすると同時に、今後とも地域N 貌しようとしております。 れることなく邁進していく所存でございます。 に励みたいと、決意を新たにするところでございます。 に、より安心と安全を提供する集団になる為、日々研 るものではございません。しかし、私たちは地域の方 人材不足、介護保険見直し等、環境は決して楽観視でき そうした中、医療・介護分野におきましても引き続 さて、政府に於きましては昨年、政権交代が起こり、 また本年二月には、八尾市の地域包括支援センター ての認可を受ける予定であります。地域福祉 心 を忘 О 対 事



思 高 1 齢社会を。 きいきと過ごせる 1 報





過去最 するなかで高齢者 と、総人口が減少 65 比率は上昇を続け、 齢社会白書による 歳以 においては男女 昨年出された高 上の 高 平均寿 割合が

ります。 よりお祈りしてお でありますよう心 て素晴らしい一年 年がみな様にとっ 初 春のお慶び 一げま ず。 界 平

申

れがちです。

想されます。 齢社会になると予 験した事の無い が国はどの国も りました。今後、我 均 一の長寿国とな で 83 高 経

どうでしょう。老 尊敬を表していま 人というと軽視さ した。しかし今は 老」という漢字は (幕府の要職)など、 昔は、大老、老中

一途。 齢者の数 が変わるまい でしょうか 軽視しても良 政権が 0) ?変わ がは増 方 ?° > _

々 加

を \mathcal{O}

> が \mathcal{O}

出来ました。大

 \mathcal{O}

寿

お祝

をする

1

変うれしく、感謝

致

0)

しております。

入居されて

\ \

る

ります。 も報いるべきであ どのような思いに 上げて下さったの でありますか は、高齢者の方々 成熟した国を作り

T施設 このような中、 では昨 年、

ます。

導お願

い申し上げ

すので、ご協力ご指 精進してまいりま ますよう職員

同

と共にお祝いでき で、卒寿・白寿・茶寿 みな様方がお元気

て、新しい取り組み

を積

 \mathcal{O}

取

7

ŋ

ま

と思い

・ます。

申

し上げます。

ほ

きた

すの 応 域

で、

心よ

Ŋ ま

「変

えたいと思い

き お

の方々

、 の 信

類に

き服

相

を行った一年

そして進化 施設長 藤山

知症

連

携を図りつつ

あたり、

か

11

頭

2

す

他

施設と、

ライフハ

尾

進

定、 私たちにとっても、 様化したニー 勢の「変化」に し上げます。 変化」を実感 利用者様 介護報酬 介護に携わ 国内 -ズな 呼応 の多 の改 外 . る

ビリ たかと思 とし 用 短 ク ては 期 わ 工 組 に ょ ご家 様 4 向 ス お 中 な る لح \vdash 食 進 け ・ます。 O族 X 事 IJ 7 認 化 的 を果たしてい 利用者様 多職種協 応えし、よりよ ビリテー 医 こ 即 ち のを求 多様化 域連携 療 今年 ŧ 要望まで 業務 める した具体 働に努め ション、 護 「進化 ・ご家族

IJ

ユ 利

フグル ご家族の ります。 り一層の 駒」「千里」と、 ビスを展開 また 充実し スロー ープの「生 方 連携を図 利用者、 々、 して参 たサー ラ 地

な

الح

リハ

護

うろう

生

駒市長をお招

が

て入居者様

 \mathcal{O}

- ライフ通信・第27号 スロ 平成22年1月1日発行 社会福祉法人和貴会 http://www.slowlife.or.jp

高齢 支援者となります。 地域福祉 者 \mathcal{O} \mathcal{O} 心強い



た。

ます。 よろこび 新春を謹 申 \overline{h} 上 で お

あ

で1年を無事迎え 『スロ ţ 昨年11 ライ フ千 月 ます。

解とご協力の そしてボランティ や地域のみな様、 ることができまし 族のみな様、 のみな様の これも、 深くお礼申し ご家 賜物 ر کا 行政 理

迎え、 き締まる思 って改めて身の げます 本年で2 新年に 年 あ İ で 引 た

なってい 施設として誕生し、 を、全て揃えた複合 密着型サー 里」は、 地域福祉 に始まった「地域 ス П \mathcal{O} かなけ 平成18 ・ライ ・ビス」 拠点と ラ千 年 ħ

とご家族 ば なりませ そ 利 為 様 用

様

ッ

フに

ŧ

こう

ĺ

た

課

題に十 恵まれ ま

素晴

5

L

1

ス

で

体

制

t

高 お 地 ること、 1 齢 過ごし 支 域 八援者 者 0) \mathcal{O} に で そし 在 L あ な 宅 続 心 3 強 る で 7 け

わらずご指導ご鞭

を 賜り、『

ス

口

8)

え ラ 撻

7

**1

1

フ千里』

を支 ます

ように

心より ただけ

お

申し上げます。

ます。

ただ こと ス 心 を提 か け 3 供

サー

ピ

確信をし 分応えて

7

お

ŋ

1

ける

す。

本年

年

Ŕ

変

 λ

で に 者 は

なられる する

生駒山に響く素敵な歌声♪

各スローライフでの、行事や日常を紹介します

生駒 Ikoma

美しいメロディにうっとり 楽しいリズムにノリノリ

オリジナルソングまでなつかしの歌から 近畿修猷会

京ブギウギ』や、 され、なつかしい 様が10月25日に を楽しむ会」 で『雨に唄えば』、 一のみな 「音楽 来訪 東 英

どを披露♪ 曲 そしてスロー のみな様も大きな声 生 ていました。 ローライフ生駒』な して下さった『ス 駒のために作詞 楽しそうに歌 入居者 ライフ 作

> なら した。 その方の大好きな曲 者 も嬉しそうに、ニコ を演奏して下さい ニコと聴い 楽しい会終了 の方のためだけに、 車椅子の生活と れ その方はとて た、 て ある入居 おられ ま

られた後も、「もう少 しここにいます」と 修猷会の方 々が

印象的でした。 しんでおられるの V つまでも余韻を楽 が

ハワイアンダンスああ、憧れの

ダンスグループ「ハイ 来訪されました。 ビスカス」のみな様 ハイビスカスのレイ 利用者のみな様も 11月15日にはフラ 緒に 踊 が

ます。 られました。 様はとても喜んでお を迎えられた入居者 奏でハッピー もウキウキ! ディを唄い、 今回はウクレレの演 フラダンスに、 (ハワイ直送!!) と 華やかな衣装 -バース 誕生日 また

時だけは南国でした。❸ た生駒ですが、その 冬になりつつあ



山の美-花を咲かせる、 しさにふる 'n 空高い秋の 昔話に

いっぱい歩いた みなさんの感想は 「今日はよう眠れ そうや(笑)」 でした。



を見 7

なさん

思 キン

1

思

VI

12

木 2

4

名プラ

なりに

<

1

保

知

的 動

活

動

を 興 気 1

7

11 1

危険

因

]

病に

な

1)

け、保

運

味

5 糖

食 望

事 ま

に

を

ています。

があ

ると言

わ 護

れ 因

仲 あ

間 る

ピと交

わ

る.....。

危険因子とは、

習

病

ょ

う

な認

知

こうし

た

生

活

は

生

(1)高血

(4)肥満

喫煙 頭

> 注 t お 効 以 慣

意す

る事

ま

そ 欲

な

生

活 で

を

3)糖尿 2)高脂

病

T

生 あ

きる意 るとさ

血 圧

症

る

果が

れ

症

病

ŧ

遠

ざ

け

を

8

たり

な

1

グ

道

策

できるなだら

カコ

に広 4

がる大阪

0)

町 眼下

並

けまし 霜月 早 用 Щ 0 ケ が VI そんなある一 秋を美 方 ア チー 葉 Þ が 狩 が、ち ŋ ピ しく彩る うよっと スご利 貝 カゝ

> 日 日

()

本 本

とても美しい嵐山山も風も川も空も)秋を満喫-の観光地、

様子をご案内します。 かけ では、11 楽とし 規 ご利用者様 ま 模多機能型居 ローライフ千里 L 月 19 て京都 日に秋 その時 ま で出 宅 \mathcal{O} \mathcal{O}

森

「らくらく登

Ш

は、車

-椅子で

ŧ

東大阪市にある府

民

れ 構成 n スご家族様1名という な思い出を懐か で有名な嵐山です。 親 父空ひば! で、 ず立ち寄 Ĺ λ かった 目 だ音 り 的 座」。昔慣 0 地 たのが には渡月 事 様 触

1) おられました。 豆 そして昼 料理 一食は 嵐 Þ Ш 0 ぱ レ

など

多く

できる

6 5

部

の

打撲

生

活

慣

病と言 その

わ

やっぱり日本の歌姫はひばりちゃん!

れれ しく言葉を交わして、 なさん、 て ッシュしてい 1 る人々とも楽 1 + とてもリ グ 訪

前号では、

11

わ <u>-</u> کر

ゆ

Ź

「物忘

れ



が

色

づき始め

生駒

か

生駒山ハイキング

「らくらく」っと

ました。

気持ちよく自

然に

S

た。

認知症 通常の

が

引き

起

す

物忘れ

0

違

1 ے

深緑に、「紅」や「黄



不 離 0 あ 良 たりと散策。 1 0 最後に渡月橋をゆ 0 -ラン を頂きました。 を訴える方も 移 動 ながら で、 あ 体調 長距 0 無

た様子でし なさん楽し 加された方は んで 頂

ま す。 T ル ツ

予

できる

ま

な

証

拠 \mathcal{O}

あ

り

知

症

が

بتح

触 知 症 れ ツ 7 \mathcal{O} 予 4 1 防 と思 1 0 VI 型 7 認

中です 究が 認 知 行 症 が わ は れ 大多数 て 現 1 在 る 型

最 研 意見 とし てア ル Þ

> せ 確 防

N 実

が

重 は カュ れ

血

压 ま

レ

ス

テ

口

]

ル、

血.

を

L

値

因 ŋ 症れ 子としては ま \mathcal{O} る、 2 1 す。 危 野菜や魚、 物を取ること 険 脳 反対 因 血. 子 管 لح 性 保 重 認 果 護 な 知

今 回 て

は

その

中

で

お

話

L

L

ま

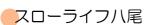
運動 知的活動 45 社

3

スローライフ通信・第27号 平成22年1月1日発行 編集:スローライフ広報委員会 社会福祉法人和貴会 http://www.slowlife.or.jp

スローライフ生駒

〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番33号 電話:0743-75-1525 FAX: 0743-75-1501 特定施設入所者生活介護(ケアハウス)



〒581-0844 大阪府八尾市福栄町1丁目12番地 電話:072-990-0100 FAX:072-990-0022 介護老人保健施設・短期入所療養介護(ショートステイ)・通所リハビリテーション(デイケア)・居宅介護支援事業

スローライフ千里

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園6番8号 電話:06-6816-1100 FAX:06-6816-1110

介護老人福祉施設入所者生活介護(特別養護老人ホーム)・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)・小規模多機能型居宅 介護・認知症対応型通所介護(デイサービス)・夜間対応型訪問介護・短期入所生活介護(ショートステイ) 4

たみちゃんの

認知症の予防